

2024年7月期 第3四半期

# 決算補足説明資料


2024.6.10



## 【免責事項】

本資料に記載されている予測、見通し、戦略およびその他歴史的事実ではないものは、当グループが資料作成時点で入手可能な情報を基としており、その情報の正確性を保証するものではありません。

これらは経済環境、経営環境の変動などにより、予想と大きく異なる可能性があります。



# 2024年7月期第3四半期 業績ハイライト

## セグメント別ハイライト

	ポイント
連結業績	「バイオものづくり革命推進事業」への研究開発投資、新製品の開発及び販売チャネルの開拓、組織体制の強化に注力。四半期ベースの営業黒字が定着。
BtoB事業	機能性素材事業は、乳飲料メーカーなど大手へのGABAの採用が継続し売上に寄与。CMO事業への「令和6年能登半島地震」による影響は、工場設備が通常の操業状態へ回復したことで限定的に。
BtoC事業	「医薬品・医薬部外品」は、ニューモブランドの医薬品「ニューZ」、漢方薬の「防風通聖散」の売上高への寄与が高まる。「サプリメント」「化粧品」は、収益性指標を重視し、広告宣伝費を抑制。
バイオメディカル事業	東北大学大学院医学系研究科と共同研究講座を開設、難治性がんに対する革新的な抗体医薬品の研究開発を目指す。自己免疫疾患の抗体創薬は、P1入りへ順調に進捗。
中期経営計画2026 新価値創造 1K	次世代サステナブル繊維「オボヴェール」は、近年アパレル業界においてリサイクル繊維への注目が高まっていることから、各種メディアに掲載され商談が活発化。経産省による繊維・アパレル業界向け環境配慮設計指針も追い風に。

## 連結売上高

(百万円)

	2023年 7月期第3四半期	2024年 7月期第3四半期	増減
BtoB事業	6,455	<b>6,507</b>	+0.8%
BtoC事業	45,779	<b>40,418</b>	▲11.7%
バイオメディカル事業	283	<b>231</b>	▲18.3%
その他	14	<b>13</b>	▲10.8%
合計	52,533	<b>47,171</b>	▲10.2%

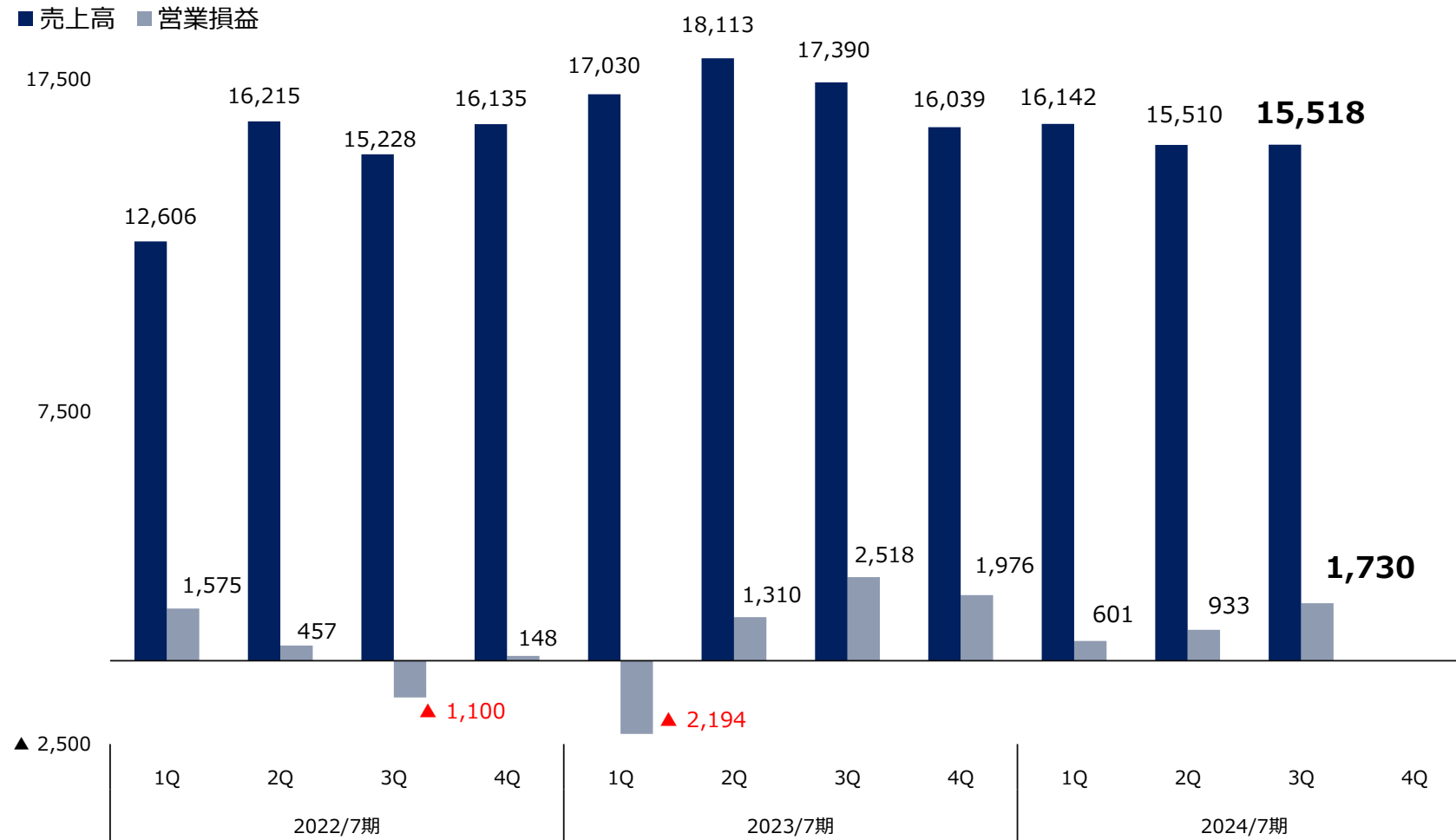
## セグメント利益

(百万円)

	2023年 7月期第3四半期	2024年 7月期第3四半期	増減
BtoB事業	1,069	<b>1,313</b>	<b>+22.8%</b>
BtoC事業	1,622	<b>3,331</b>	<b>+105.4%</b>
バイオメディカル事業	▲177	<b>▲315</b>	▲137
その他	▲3	<b>▲13</b>	▲10
調整額（全社費用等）	▲876	<b>▲1,050</b>	▲174
合計	1,634	<b>3,266</b>	<b>+99.9%</b>

# 四半期連結業績推移

(百万円)



地震による出荷停止の影響も安定した売り上げを達成、四半期ベースの営業黒字が定着。



# B to B 事業

# GABAは引続き好調、工場設備は通常の操業状態へ復調

(百万円)

## アイテム別売上高

	2022/7期					2023/7期					2024/7期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
機能性素材	252	431	391	633	1,708	375	440	564	620	2,002	504	441	<b>729</b>		1,676
機能性製品	252	169	242	261	925	289	484	449	145	1,368	199	172	<b>153</b>		526
CMO	-	1,672	948	1,021	3,642	892	1,104	1,076	1,117	4,190	1,151	1,068	<b>1,175</b>		3,395
CHC	-	869	466	465	1,801	312	172	294	78	857	377	254	<b>277</b>		909
合計	504	3,143	2,048	2,382	8,079	1,869	2,201	2,384	1,962	8,418	2,233	1,938	<b>2,336</b>		6,507

- ※ 機能性素材 : PharmaGABA、ボーンペップ等
- ※ 機能性製品 : OEM、越境EC、自社ブランド製品などの最終製品を主にBto[BtoC]チャンネルで販売
- ※ CMO (Contract Manufacturing Organization) : 医薬品製造受託機関
- ※ CHC (Consumer Health Care) : ドラッグストアでの医薬品及び機能性食品等の販売

機能性素材は「ファーマギャバ」の販売が国内外で好調継続。医薬品製造受託は、「令和6年能登半島地震」被害後、通常の操業状態へと回復。機能性製品・CHCは、自社ブランド流通チャンネルの拡大に注力。



## 機能性表示食品受理件数

## 関与成分別受理件数ランキング

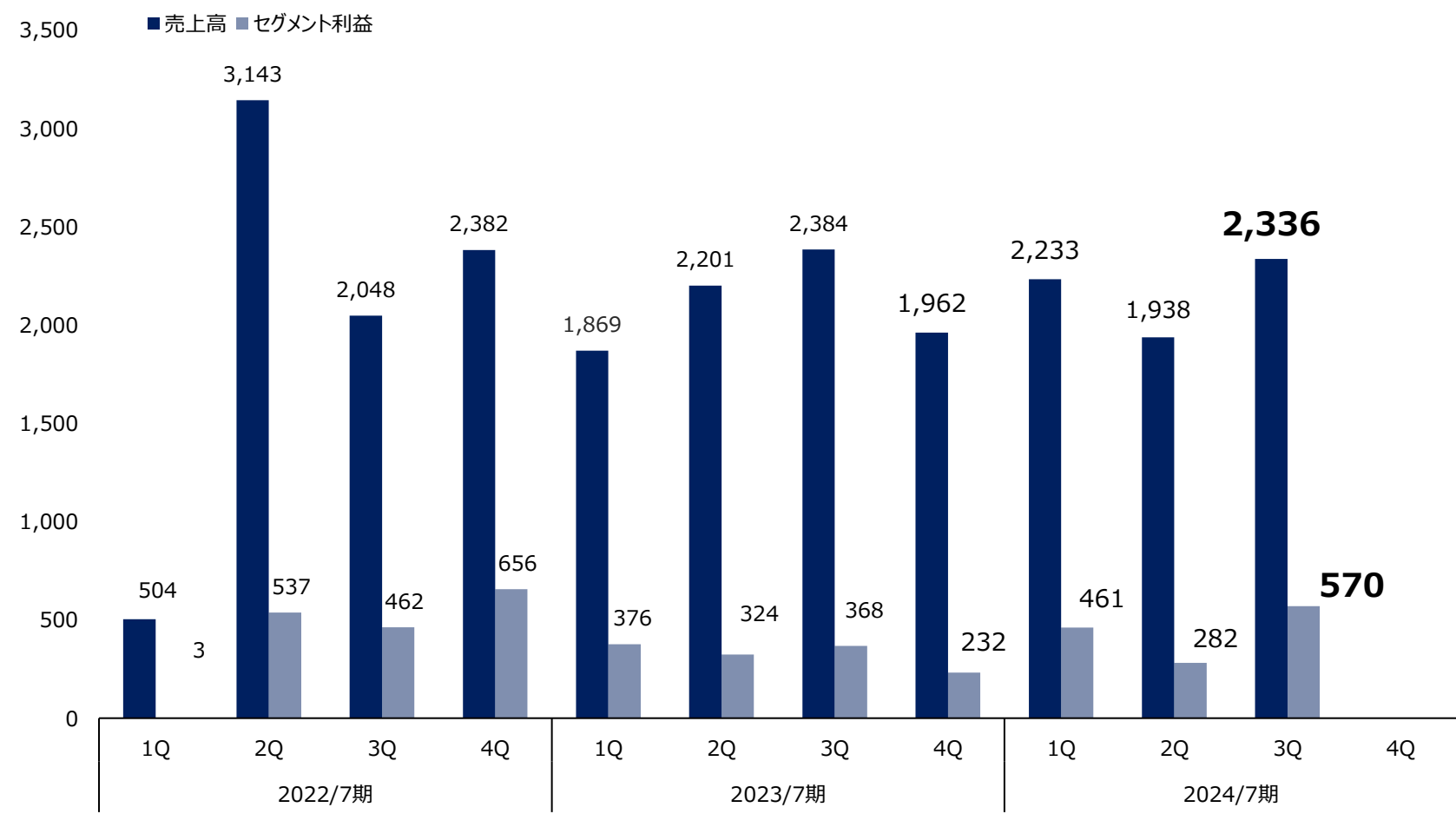
(件)

順位	機能性関与成分	受理数
1	<b>GABA</b>	<b>1,139</b>
2	難消化性デキストリン	500
3	ルテイン・ゼアキサンチン	441
4	ビフィズス菌	414
5	DHA/EPA	364
6	ブラックジンジャー由来ポリメトキシフラボン	334
7	イチョウ葉 (フラボノイド配糖体、テルペンラクトン)	206
8	葛の花由来イソフラボン	178
9	アスタキサンチン	177
10	L-テアニン	160


2024.5.15 現在 当社調べ

# 四半期業績推移

(百万円)



**機能性素材事業及びCMO事業が堅調に推移し売上及び利益に貢献。  
今後注力の機能性製品事業やCHC事業は販路拡大に向け取り組み継続中。**



# B to C 事業

# 新製品の育成が着実に進む

「BODY-GA」

累計出荷 **10万本** 突破



2024.5.27 現在

「ニューZ」

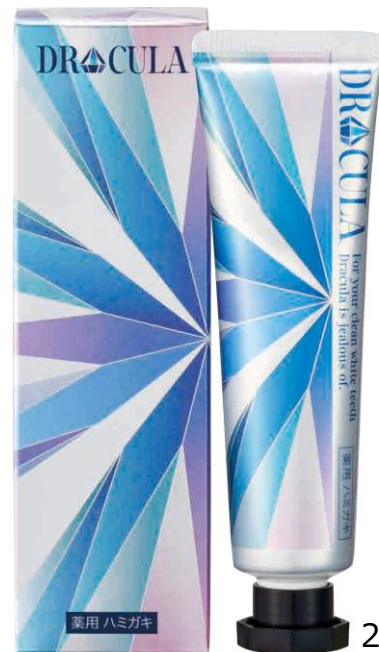
累計出荷 **40万本**



2024.5.15 現在

「DRacula(キュラ)」

累計出荷 **250万本**



2024.5.18 現在

「ニューモ育毛剤」

累計出荷 **2,700万本**



2024.6.4 現在

2023年 **歯磨き粉市場** (通販部門)

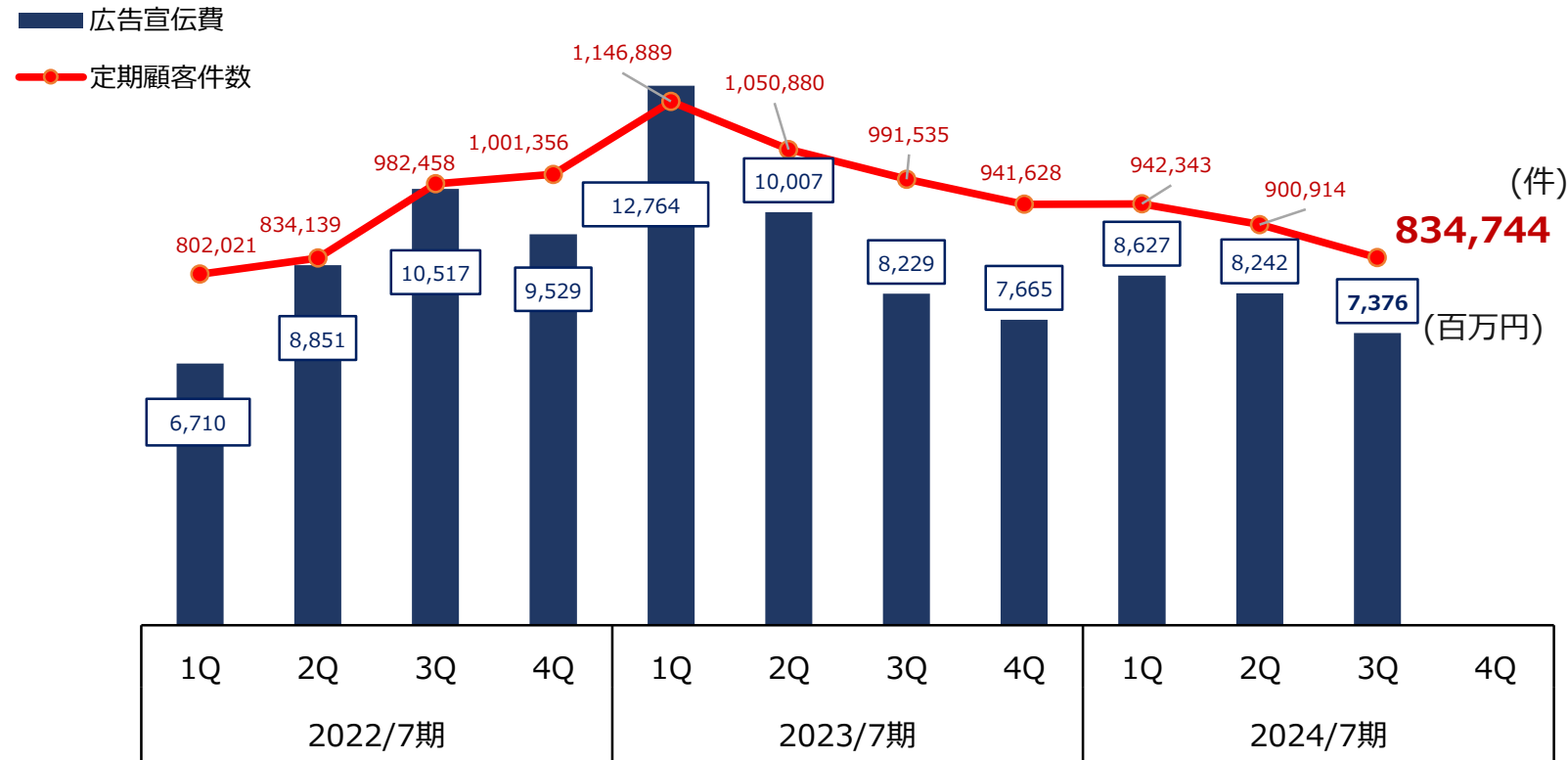
**売上No.1**

4年連続 **ヘアケア** (頭髪化粧品) 全般

**売上日本一**

※TPCマーケティングリサーチ調べ

# 広告宣伝費と定期顧客件数



## 主要製品の定期顧客件数

### 化粧品

まつげ美容液	: 37,760
ランシェル	: 15,426
カラーシャンプー	: 21,667

### 医薬品・医薬部外品

ニューモ育毛剤	: 337,332
ニューZ	: 32,537
キュラシリーズ	: 91,981
ラクトロン錠	: 52,192
防風通聖散 創至聖	: 14,115
防風通聖散 貴秘薬	: 23,647
BODY-GA	: 24,119

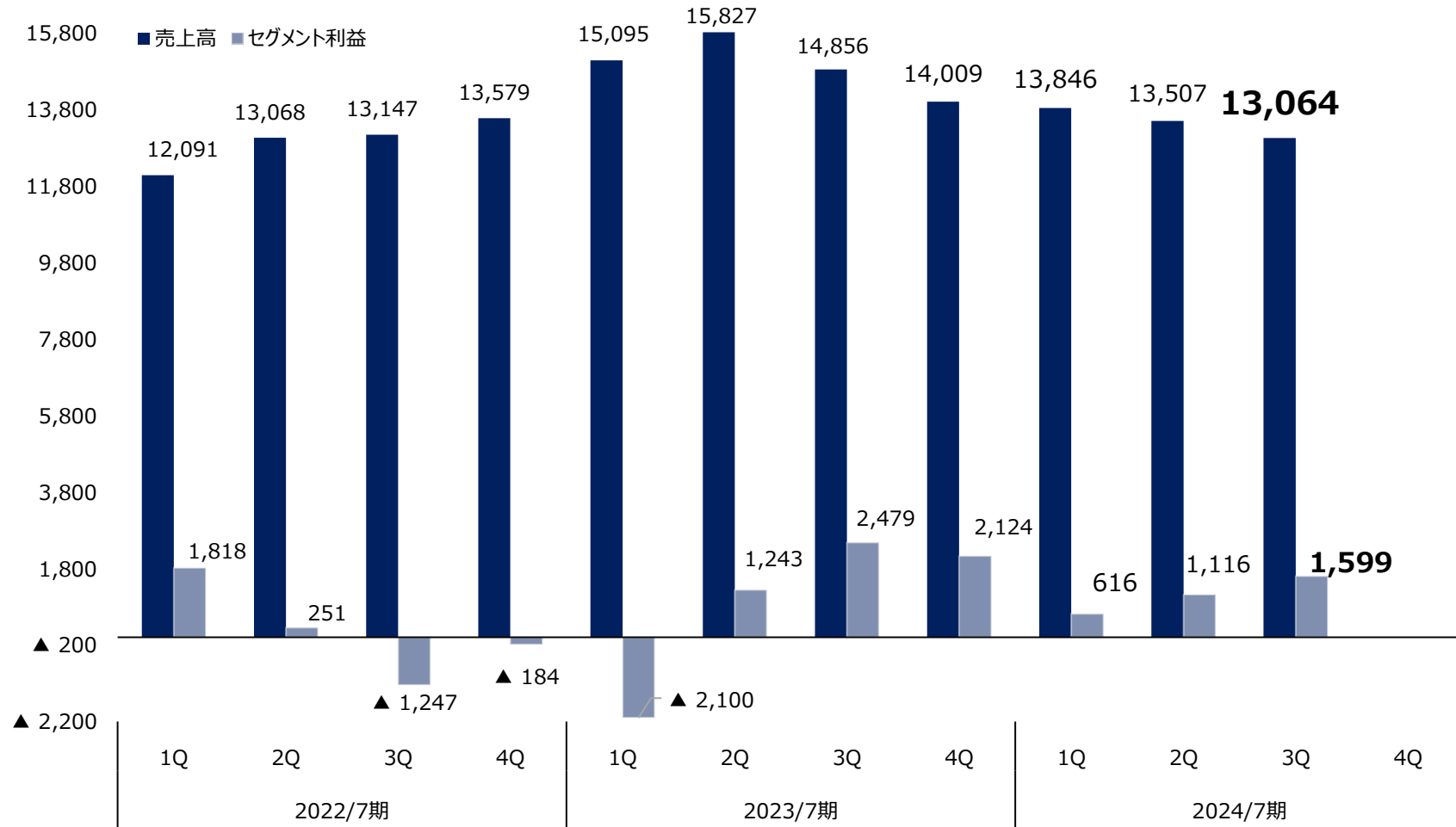
### サプリメント

シボラナイト2	: 41,094
タマゴサミン	: 27,501

機能性表示食品制度見直しの議論など、新規獲得への影響が一時的に発生。

# 四半期業績推移

(百万円)



「ニューZ」、「防風通聖散」及び「BODY-GA」など新製品への育成は進みつつ、既存製品を合わせ売上高は同水準を維持。



# バイオメディカル事業

# AI創薬チームによる特許取得

抗体医薬品開発プロセス

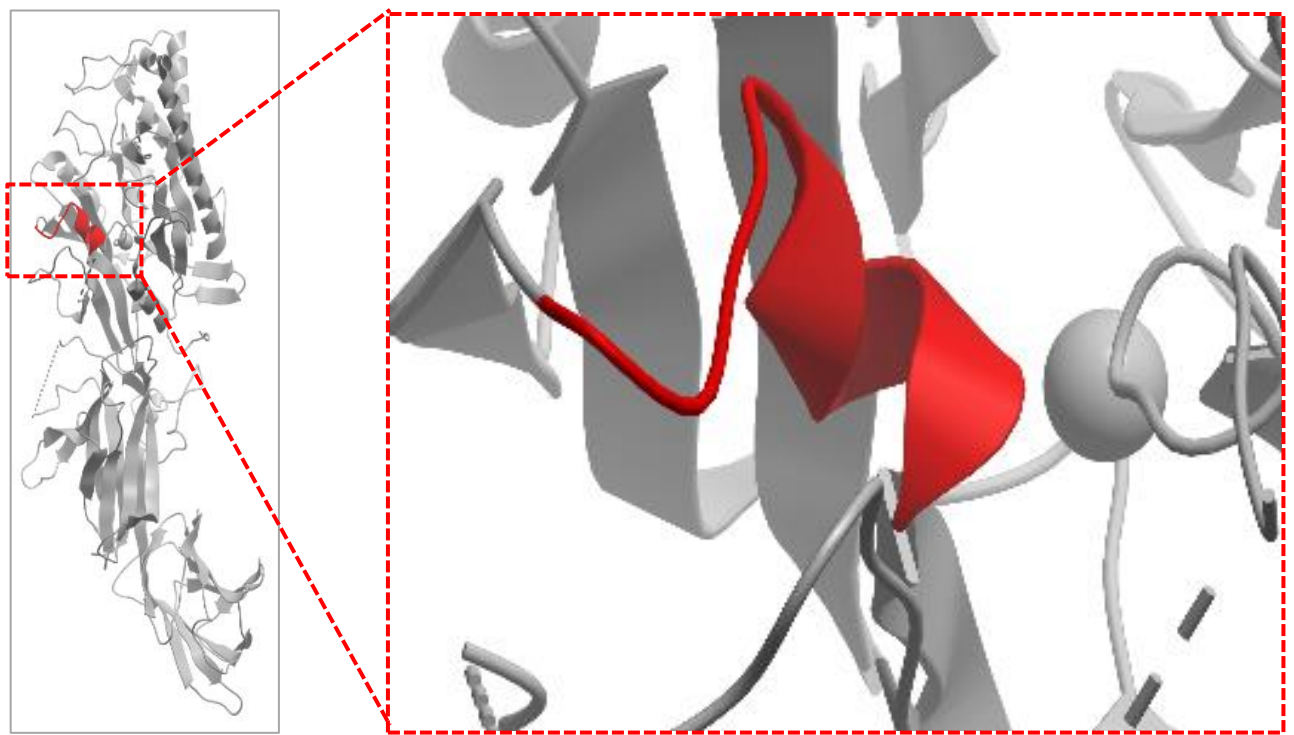


- タンパク質立体構造データベースから抗原/抗体複合体データを抽出し、免疫原性※が高いと推定されるエピトープ※配列を学習させ、検出する
- エピトープ配列の一部を置換することにより、免疫原性を高める

特許第7437558号 情報処理装置、情報処理方法、およびプログラム

※免疫原性 : 免疫原になり得る能力

※エピトープ : 抗原において抗体が結合する部位

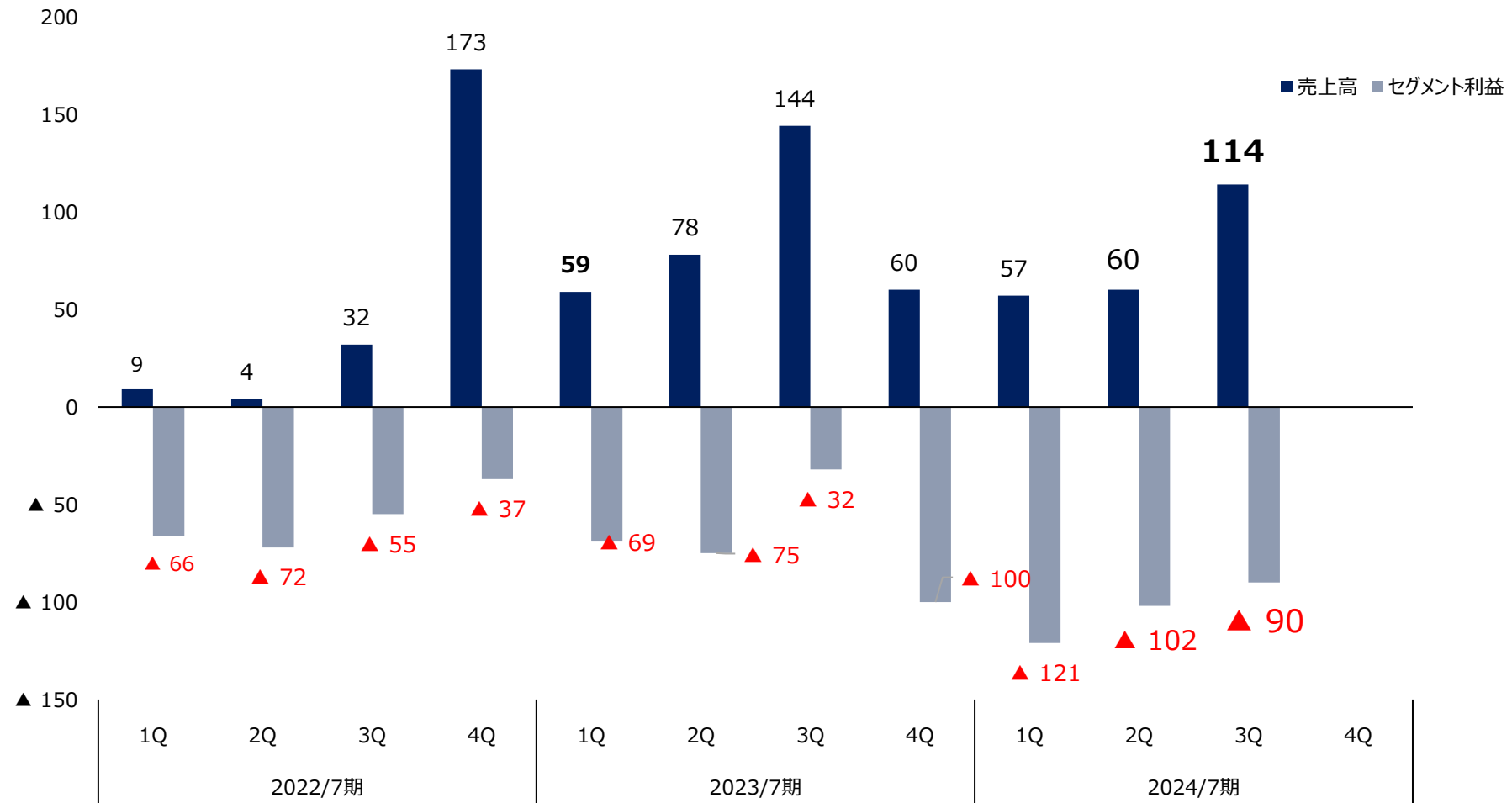


**抗体医薬品開発プロセスの短縮化によりパイプラインの創出を増やす。**



# 四半期業績推移

(百万円)



**東北大学大学院医学系研究科と共同研究講座を開設、難治性がんに対する革新的な抗体医薬品の研究開発を目指す。自己免疫疾患の抗体創薬は、P1入りへ順調に進捗。**

中期経営計画2026の進捗について

「新価値創造 **1K**」

プロジェクト

# 業界動向-経産省、繊維製品の環境配慮で指針

「新価値創造 1K」

## 欧州において急速にルール化が進む中、環境配慮設計が国内の繊維事業者・アパレル事業者にも求められる

- ①環境負荷の少ない原材料の使用
- ②GHG排出抑制、省エネルギー
- ③安全性への配慮
- ④水資源への配慮
- ⑤廃棄物の抑制
- ⑥包装材の抑制
- ⑦繊維くずの発生抑制
- ⑧長期使用
- ⑨リペア・リユースサービスの活用
- ⑩易リサイクル設計
- ⑪繊維製品のリサイクル

出所：経済産業省「繊維製品の環境配慮設計ガイドライン」（2024年3月）

次世代サステナブル繊維「**オボヴェール**」への引き合いが増加している。



# GABAでゾーン状態増加、eスポーツ選手を支援する食品開発へ

「新価値創造 1K」

## GABAの摂取によりZone 状態が優位になり、eスポーツのパフォーマンスが向上することを初めて発見

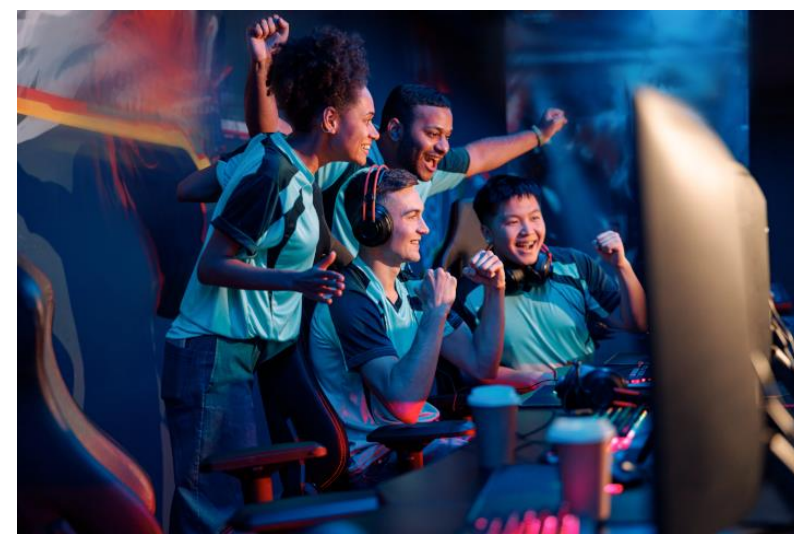
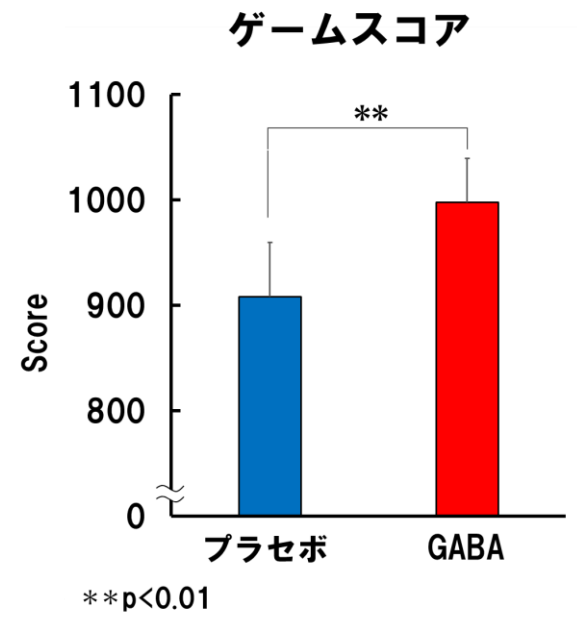
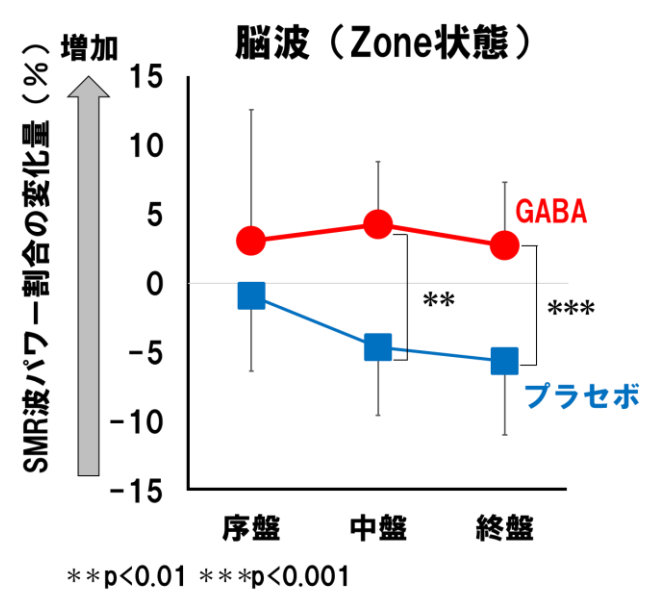


図1 GABAの摂取は深い集中状態 (Zone) を維持する。

図2 GABAの摂取はゲームスコアを向上させる。

MOBA (Multiplayer online battle arena) のトレーニング用ミニゲームで試験を実施

**eスポーツプレイヤーのパフォーマンスを維持するための  
代表的なスポーツニュートリションとして育成する。**

# 2024年7月期業績予想について

## 新価値創造を社会実装まで見据えた投資を継続していく

(百万円)

	2023年 7月期	2024年7月期 予想
売上高	68,572	64,100
営業利益	3,610	2,700
経常利益	3,540	2,900
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,081	1,800

2024年3月11日に発表した業績予想値からの変更はなし。

## 株主還元

	2023年 7月期	2024年 7月期予想
<b>一株あたり 年間配当金</b>	22円	<b>20円</b>
配当金総額	6.3億円	5.7億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	30.8億円	18.0億円
<b>配当性向</b>	20.6%	<b>31.7%</b> ※
<b>自己株式取得</b>	3億円	<b>10億円</b>
<b>総還元性向</b>	30.3%	<b>87.2%</b> ※

※ 2024年3月11日発表の業績予想の親会社株主に帰属する当期純利益に基づく

2024年1月  
財務状況の改善及び適切な利益実現  
の見通しを総合的に考慮し、株価が  
ディスカウントされていると判断

## 株主還元方針

当社は、企業の成長性と収益性を両立させる事業方針の下、研究開発、広告宣伝及びM&A等に対する積極的な投資を拡大させながら、株主様に対する還元策として配当等を積極的に充実させていくことを基本方針としております。この方針の下、成長投資の推進、財務健全性の確保及び株主還元の強化のバランスを考慮し、自己株式取得を含む総還元性向20%を株主還元策の目安としております。